

KUSANAGI

KUSANAGI

マネージドサービス
for

ビジネス

サービス導入事例集

KUSANAGI

マネージドサービス
for
ビジネス

サービス導入事例集

CONTENTS

野村證券様 「NEXT LEADERS LAB」	AWS	3
りそな銀行様 「iDeCoスタートクラブ」	AWS	4
サンリオ様 「株式会社サンリオ」	AZURE	5
松屋フーズ様 「株式会社松屋フーズ」	IDCF	6
ブリヂストン様 「Moto-Bridge(モトブリッジ)」		7
ファミリーマート様 「ファミマプリント」	AWS	8
セガホールディングス様 「セガ製品情報サイト」	AZURE	9
日商エレクトロニクス 様 「日商エレクトロニクス株式会社」	AWS	10
アクティビティジャパン 様 「アクティビティジャパン」	AWS	11
アルー様 「alue」	CPI	12
HS情報システムズ様 「株式会社HS情報システムズ」	AZURE	13

未来の経営を担う、次世代経営者向けメディア
「NEXT LEADERS LAB」

閲覧者や、管理者であるメンバーのストレスが解消され、障害も全くなく、健全な運営ができるようになったのです。Webサイトの管理を丸ごと委託できるのは、とてもありがたいことです。

KUSANAGI for AWS

情報サイト

KUSANAGIフルマネージド

高速化チューニング

レスポンスの高速化

セキュリティ強化

運用コスト削減

PV数向上

常時SSL化

高アクセス対策

管理画面高速化

手軽な導入



■ お客様情報	
運 営 会 社：野村證券株式会社	サ ー ビ ス イ ン：2017年11月
サ イ ト 名：NEXT LEADERS LAB	利 用 製 品：KUSANAGI for AWS
■ 「KUSANAGI」導入前の課題	
野村證券のマーケティングでは、ワントウワンのマーケティング・コミュニケーションを実現するに当たり、複数のサイトを運営しており、未来の経営を担う次世代経営者向けのメディアについてPDCAを実施しながら運用する必要があった。	
■ 「KUSANAGI」導入後	
デジタルマーケティングのプロジェクトとしてPDCAの実施に際し、構築したWebサイトアプリケーションとインフラ環境は、高速で安定したシステムであり、安心して運用を実施できるようになった。	

野村證券株式会社マーケティング部
次長 兼マーケティング課長 兼宣伝課長
高橋 真也氏

将来を担う投資家とのタッチポイントの強化

野村證券は、将来を担う投資家とのタッチポイント（接点）を強化する目的で、ウェブマガジン「EL BORDE（エル・ボルデ）」（http://www.nomura.co.jp/el_borde/）などのコンテンツマーケティングを展開してきた。その中の一つとして、未来の経営を担う次世代経営者向けの総合メディアとして生まれたのが「NEXT LEADERS LAB」である。

このメディアは、中小企業オーナーや事業承継の対象となる次世代の経営者に向き合う経営にまつわる様々な課題解決のヒントを、「事業戦略」、「事業継承」、「不動産」、「マネジメント」、「ライフハック」などの切り口で解説している。

近年、証券投資をする人々の若年化が進んでいる。彼らの投資スタイルや証券会社を選ぶ基準、ライフスタイルなどは、従来とは大きく異なっている。野村證券はそのような変化に対応する必要があると考えていた。

従来のように資産運用に関する情報を発信するだけでは、若年層の支持を失うのではないかという危惧があった。そこでまず、将来的に資産運用を行う可能

性が高い顧客層が、資産運用以外の分野で興味を持つような情報を発信することで、ターゲット顧客とのデジタルなタッチポイントを増やそうと考えた。そのためには効果的なデジタルコンテンツを増やしていくことが必要となる。

今回のサイトは、営業店の中堅企業のオーナー外交のメンバーが、野村證券が運営しているサイトとして話の種にするためのツールとして立ち上げた。

お客様との接点、タッチポイントを増やしていかないとお客様との関係が築けないのは自明の理である。野村證券が今まで得意としていた、営業担当者をお客様への提案、コンサルティング、アドバイスをデジタルデバイスを通じて提供していく方向性は数年前から様々な形で模索していたという。



（左）プライム・ストラテジー株式会社
代表取締役
中村 けん牛

限られたリソースでサイトの効果を最大限引き出したい

一般的に見て、こうしたマーケティングの企画は、初回はうまくいかないことのほうが多い。企画を練り上げ、実施して、その結果をプロジェクトの改善に活かして再度実行するといったPDCAサイクルを効率的かつ効果的、そしてスピーディーに展開していくことが重要だ。数という点から考えても、プロジェクトは常に一定数以上展開していくことにより効果を発揮しやすい。こうした背景の中でローンチしたのが「NEXT LEADERS LAB」だった。

「NEXT LEADERS LAB」は当初、「かつていいパンフレットのようなサイトがあってもいいんじゃないか？」と言うところからスタートした。営業時の話題になるようなサイトを意識し、試行錯誤を重ねてきた。野村證券株式会社マーケティング部 次長 兼マーケティング課長 兼宣伝課長 高橋 真也氏は次のようにコメントしている。“「NEXT LEADERS LAB」では、他のプロジェクトと同様にPDCAを高速に回しながら効果的なコンテンツを提供していく必要があると、最初から想定していました。また、「NEXT LEADERS LAB」のプロジェクトメンバーは数名しかおらず、この限られたリソースを「NEXT LEADERS LAB」の効果を最大限引き出すための活動に専念させたいとも考えていました。”

メンバーにストレスを与えることなく、健全な運営ができるようになった

一般的にマーケティング企画では、フローや仕組みを作りこんでしまうと企画が硬直化し、柔軟性やスピードが欠けていくという傾向がある。プロジェクトは、仕組みが軽い方が成果が出やすい。この様なプロジェクトには、メンバーをプロジェクトに専念させるためにも、軽くて速く、セキュリティに強いインフラが適していた。「KUSANAGI for AWS」はOS、Webサーバ、DBなど必要な環境がパッケージ化されている。高速化とセキュリティに関する技術は強力で、メンテナンスも容易だ。「KUSANAGI for AWS」の採用により、メンバーはインフラ環境を意識せずにプロジェクトに専念できるようになり、その結果、プロジェクトが効率的に機能するようになった。

野村證券株式会社マーケティング部 次長 兼マーケティング課長 兼宣伝課長 高橋 真也氏は次のようにコメントしている。“「KUSANAGI for AWS」を採用したことで「NEXT LEADERS LAB」の高速化が実現しました。閲覧者や、管理者であるメンバーのストレスが解消され、障害も全くなく、健全な運営ができるようになったのです。「KUSANAGI for AWS」のような実行環境を採用でき、Webサイトの管理を丸ごと委託できるのは、とてもありがたいことです。”

NEXT LEADERS LAB 構成について

NEXT LEADERS LABのサービスは、フロントエンドにEnginx、PHP 7、DBにMaria DB Galera Serverを採用しています。

KUSANAGI for AWS
<https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-aws/>

KUSANAGIについて
<https://kusanagi.tokyo/>



税制メリットのある新しい積立のカたち

「iDeCoスタートクラブ」

開始早々に目標であった月間20万PVを達成し、会員数も1,700名を超え、順調に成長していています。

KUSANAGI for AWS

情報サイト

CMSサイト開発パッケージ KUSANAGIフルマネージド 高速化チューニング

レスポンスの高速化 セキュリティ強化 運用コスト削減

PV数向上 常時SSL化 高アクセス対策

運用効率の改善 迅速な対応



■ お客様情報

運 営 会 社：株式会社リそな銀行
サ イ ト 名：iDeCoスタートクラブ
サ イ ト U R L：https://dc-startclub.com

サ ー ビ ス イ ン：2016年9月
利 用 製 品：KUSANAGI for AWS

■ 新規サイトに必要とされる課題

iDeCo（個人型確定拠出年金）の内容をわかりやすく理解でき、認知度も上がるようなWebサイトが必要だった。銀行が運営するオウンドメディアでもあるため、セキュアなサイトであることが前提だった。毎月10件のコンテンツをスムーズに公開できる、更新しやすいCMSである必要があった。閲覧数が伸びるよう、表示速度の速いサイトにしたかった。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

表示、検索とも高速なオウンドメディアを立ち上げることができた。セキュリティの高いサイトを立ち上げることができた。PV目標と会員数の目標を達成できた。



リそな銀行 信託ビジネス部
担当マネージャー
谷内 陽一様

iDeCoについてわかりやすく理解できるWebサイトが必要でした

iDeCoスタートクラブは、リそな銀行が運営する、人々の老後の生活を豊かにするための確定拠出年金に関する情報が満載のWebサイトです。リそな銀行が提供している個人型確定拠出年金（iDeCo）の最新情報や、資産運用に関するお得な情報を、読みやすいコラムのスタイルでお届けしています。

iDeCo自体は15年以上前から施行されていましたが、税制が優遇されるという嬉しいメリットがあるにもかかわらず、ほとんど利用されてきませんでした。また、以前は自営業者や企業年金に加入できない方のみを対象としていましたが、法改正により2017年1月からは原則誰でも加入できるようになりました。

iDeCoは公的年金と混同されたり、また一部で誤解があったため、わかりやす

く理解できるWebサイトが必要と考え、2016年5月から検討を開始し、2016年9月に「KUSANAGI」を活用してオープンさせることができました。

毎月10本のコンテンツが更新できるような セキュアで速く、更新が簡単にできるCMSを探していました

以前は、法人向けに企業年金関連の情報をまとめたニュースレターを発行したり、PDFにまとめWeb上で公開することはありましたが、毎月10本のiDeCoに関する情報を公開するというのは、国内では初の試みでした。

「KUSANAGI」導入前に様々な情報サイトを見ていました。その時に気付いたのは、他のサイトでは表示速度が遅いことが多く、表示速度が遅いと閲覧数が伸び悩んでしまうのではないかとということでした。また、銀行が運営するオウンドメディアであるため、セキュアなサイトであることが前提でした。

そして毎月10件のコンテンツを公開するためには、平易で更新しやすいCMSである必要もありました。多くの情報サイトでWordPressを利用していることを知っていたため、WordPressを採用しました。

「KUSANAGI for AWS」を採用することで、WordPressが高速化され、セキュアで運営のしやすいサイトとして立ち上げることができました。お蔭さまで速度に関するストレスは全くありません。またセキュリティについても、しっかりと運営されているので不安はありません。その結果、開始早々に目標であった月間20万PVを達成し、会員数も1,700名を超え、順調に成長していています。

セキュリティを担保してくれているので、安心して企画を実施したり、情報発信できることを評価しています

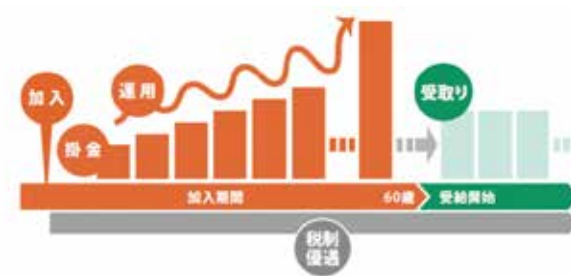
現在、節税シミュレーションの機能がとても好評を頂いていますが、今後は、サイトだけではなくセミナーとの連携や、著名人インタビュー、漫画、動画などの企画を考えています。またスタートクラブは2017年8月にリニューアルを予定しており、現在、アンケートを実施して、その結果をUIやUXのヒントとして反映させるつもりです。最終的には、確定拠出年金についてわからないことがあっても、このサイトに来れば何らかの情報が得られるようなブランドとして高めていきたいと考えています。本サイトはセキュリティが担保されているので安心して企画を実施でき、情報発信できるのも評価しています。

いつでも、何があっても対応頂けるという安心感があります

「KUSANAGI」は拡張性も高く、今のサイトは問題がありません。また、いつでも、何があっても対応して頂けるという安心感もあります。そして、他の似たような情報サイトと比べても速いです。競合会社には「KUSANAGI」を使ってほしくないですけど、競合会社を含めて、オウンドメディアを立ち上げるのでしたら、速くてセキュアなので、「KUSANAGI」を使うといいですよ。と言わざるを得ません。

確定拠出年金（iDeCo）の概要

- 掛金と運用収益の元利合計で給付額が決まる
- 加入者の年金資産は、個人ごとに明確に区分される
- 資産運用は、複数の運用商品ラインアップの中から加入者自身が選択する
- 掛金・運用収益・受取りに至るまで、さまざまな税制優遇措置がある
- 原則として、60歳になるまで中途引出しができない



日本を代表するキャラクターメーカー公式サイト「株式会社サンリオ」

「株式会社サンリオ」

「KUSANAGI」なら、超高速化の実現とミドルウェアの保守対応の課題を解決できる上、更に運用コストも削減できることがわかったので、採用に至りました。

KUSANAGI for Microsoft Azure
コーポレートサイト

- KUSANAGIフルマネージド
- 高速化チューニング
- マイグレーション
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 管理画面高速化
- 運用効率の改善
- 的確な提案



■ お客様情報

社 名：株式会社サンリオ

サービスイン：2018年4月

サイト名：株式会社サンリオ

利用製品：KUSANAGI for Microsoft Azure

サイトURL：https://www.sanrio.co.jp/

■ 旧サイトの課題

・ 以前から利用していたWordPressに脆弱性が見つかったのをきっかけに、即時的なバージョンアップが必要な場合に迅速な対応ができる体制が求められていた。

・ サイトの表示スピード改善のため対応やチューニングを都度実施している状況だった。

.....

■ サービス導入後の効果

・ WordPressのバージョンアップをはじめとした迅速な保守体制ができた。表示速度が10倍近く向上した。

・ 保守費用を新たに支払っても全体の運用費用が2割削減できた。



株式会社サンリオ
マーケティング本部デジタル統括部
オウンドメディア運用課課長 岩田 宏道氏

10倍高速化と運用費用の20%削減を実現

日本を代表するキャラクターヒットメーカーであるサンリオ。「ハローキティ」「マイメロディ」「リトルツインスターズ」「ポムポムプリン」「シナモロール」「ぐでたま」など、日本人であれば誰もが知っているようなキャラクターを生み出してきた。サンリオが生み出してきたキャラクターが身近にいる環境で育った人は多い。また、サンリオのキャラクターはTVでも放映され、ニュースとして報じられることもある。ニュースや情報番組で紹介されると、アクセス数は大幅に跳ねあがり、瞬間的にサイトが落ちてしまうこともあるという。TVでサンリオのキャラクター情報を見て、胸を躍らせた人たちがアクセスした際に、ストレスなくページが表示され、楽しんでもらいたいとサンリオは考えていた。サンリオの公式サイトは人気サイ

トであり、スマートフォンからのアクセスも多い。そこで、5年前にWebサイトをリニューアルし、WordPressを採用、スマートフォンへの対応も行っている。サイトの表示スピードに関してはリニューアル当初より課題となっており、そこで根本的な解決をすべく、「KUSANAGI for Microsoft Azure」を採用したところ、Webページの表示速度は最大で約10倍高速化し、管理画面の速度も大幅に改善された。株式会社サンリオ マーケティング本部デジタル統括部オウンドメディア運用課課長 岩田 宏道氏は次のようにコメントしている。「KUSANAGI for Microsoft Azure」の導入後はサイトが落ちることや、表示速度が著しく低下することではなく、サンリオのキャラクターが大きく報じられても心配することがなくなりました。」

テストサイトで超高速化できることを事前に確認

サンリオの公式サイト全体のプロデュースはネットイヤーグループが担当しており、サイトの評判も良い。長年に渡って築き上げられた両社のパートナーシップは良好で、そこには良いチームワークが出来上がっている。ネットイヤーグループ株式会社カスタマーエクスペリエンス事業部 プロデュース部第1チームアカウント統括マネージャー 新井 康平氏は、「岩田氏から保守業務を推進するうえでの相談を受けていたところ、ちょうどプライムストラテジーからサンリオに『KUSANAGI for Microsoft Azure』と『KUSANAGI公式サポートサービス』の提案があった」という。株式会社サンリオ 同課にて、インフラ管理を担当している係長 鈴木 史雄氏は次のようにコメントしている。「プライム・ストラテジーには、移行後の「KUSANAGI for Microsoft Azure」上で稼働するテストサイトを構築してもらい、そのテストサイトを見ながら検討することができました。このテストサイトのおかげで高速化など、採用後のイメージがわき、その効果が良くわかりました。」



株式会社サンリオマーケティング本部
デジタル統括部オウンドメディア
運用課係長 鈴木 史雄氏



ネットイヤーグループ株式会社
カスタマーエクスペリエンス事業部
プロデュース部第1チームアカウント
統括マネージャー 新井 康平氏



ネットイヤーグループ株式会社
カスタマーエクスペリエンス事業部
プロデュース部 第1チームアカウント
統括マネージャー 藤原 大氏

コンテンツもミドルウェア・サーバ管理もワンストップ体制

ネットイヤーグループは、インターネット黎明期に創業した当時から、UXデザインを基軸とした戦略とデータ、マーケティングテクノロジーに強いトップベンダーだ。上流のマーケティング戦略立案から運用まで、ワンストップでデジタルタッチポイントを実現できることが評価され、サンリオのネットコミュニケーション戦略やサイト全体プロデュースから運用までを総合的にで担当している。少し前から、コア業務に企業が集中するためには、外注部分をできるだけワンストップで対応できる会社に依頼することが有効であるとされる傾向がある。プライム・ストラテジーも、クラウドからミドルウェアまで、WordPress以下のレイヤーの保守をワンストップで担当しており、「KUSANAGI公式サポートサービス」やフルマネージドサービスとして提供している。その導入効果は、保守の強化のみならず、コストの削減ができているケースが多い。サンリオにもたらされたその効果は、まさに強力なソリューションであると言えるものだと改めて感じさせるものだ。サンリオ 岩田氏は次のようにコメントしている。「KUSANAGI」なら、超高速化の実現とミドルウェアの保守対応の課題を解決できる上、更に運用コストも削減できることがわかったので、採用に至りました。

株式会社 松屋フーズ

「牛めしの松屋」が実現した運用環境の抜本解決

「牛めしの松屋」公式サイト

「株式会社松屋フーズ」

高速化と冗長化により急激な負荷にも耐えられるWebサイトを低コストで実現し、運用の一元化を実現。サーバ管理のみならず、コンテンツの不具合にも対応。

KUSANAGI for IDCフクラウド サービスサイト

- マイグレーション
- CakePHP
- PowerCMS
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 運用効率の改善
- 迅速な対応
- 管理画面高速化



■ お客様情報
サイト名：株式会社松屋フーズ 運営会社：株式会社松屋フーズ
サイトURL：https://www.matsuyafoods.co.jp 本社所在地：東京都武蔵野市
サービスイン：2017年10月 事業内容：牛めし定食事業、とんかつ事業、鰯事業、ラーメン事業、外販事業 他

■ 「KUSANAGI」導入前の課題
負荷分散システム「オートスケーリング」を採用していたが、TVやニュースメディアで松屋フーズが紹介された時など、Webサイトへの急激なアクセス増加に対応できず、不具合が発生することもあった。週2回以上発生する約2,000件のメニュー更新などコンテンツ管理に時間がかかっていた。

.....

■ 「KUSANAGI」導入後
高負荷時にも落ちることがなく、ストレスを感じさせないWebサイトを低コストで実現できた。
サーバ管理からコンテンツ管理まで一括でプライム・ストラテジーに委託ができ、運用負担が軽減できた。



株式会社松屋フーズ 総務部総務・広報グループ 大野 泰山氏

国内屈指の外食企業「松屋フーズ」。新メニュー発表時にはWebサイトの表示が著しく遅くなることも

国内屈指の外食企業として知られる株式会社松屋フーズは、牛めし定食事業、とんかつ事業、鰯事業、ラーメン事業を展開している。店舗数は国内外で1080店舗（2017年3月末現在）に達し、特に店舗数が多い関東地方では松屋フーズの名前を知らないものはいないほど知られている有名企業である。松屋で育ったと豪語する者もあり、根強い人気を持つ松屋店舗は食事時には行列ができることも多い。このような、人気を誇る外食企業である松屋フーズは、毎月新メニューが公開され、その都度、テレビやニュースに広く紹介されることが多

く、新メニューを楽しみにしているファンも多い。

人気の外食企業である松屋フーズを支えるWebサイトは、情報の更新量が非常に多く、情報更新の効率化を図るために2011年にWordPress、2013年にMovable Typeを導入した。CMSの導入によってサイトコンテンツを更新しやすくなった一方で、Webサイトへの負荷がかかりやすくなったという。その解決のために松屋フーズはオートスケーリングを導入した。オートスケーリングとは、Webサイトなどのシステムにアクセスが集中することで負荷がかかった場合、その負荷を分散するためにサーバなどの台数を自動的に増減させることができる仕組みである。しかしながら、当時のオートスケーリング機能は、Webサイトに負荷がかかったことを検知してからセカンダリーWebサイトが立ち上がるまでのタイムラグが発生してしまう仕組みであった。これにより、Yahoo!ニュースなどで松屋フーズが紹介された時など、急激なアクセス数の増加を処理できず、対応できない時間が瞬間的に発生してしまうことや、それによる不具合が発生することもあった。結局、松屋フーズは予め急激なアクセスが予想される場合は、前もって手動でオートスケーリングを立ち上げて対処していた。

抜本的なサーバのリプレースの検討を始める

松屋フーズは、手間をかけず、自動で急激なアクセスにも対応できるサイトを構築したいと考えていた。当時のサーバ管理会社にも相談したが、出てくる改善案はオートスケーリングの継続利用が前提であり、その提案では根本的な解決ができないことから、松屋フーズは抜本的なサーバリプレースを考えはじめる。そういった状況の中、松屋フーズの弁当予約サイト「松弁ネット」で、ポイントサービス導入の企画が採用されることになった。「松弁ネット」のポイントサービス導入後には、システム不具合を出すわけにはいかないため、導入までには根本的な解決を求められていた。

さらに担当者の業務が多忙になっていく中、委託先の一元化も必要になってきていた。当時のサーバ管理会社ではコンテンツのメンテナンスができなかったため、別途外注する必要があり、サーバ管理とコンテンツ管理を一元的に管理できる委託先を求めるようになっていった。

今までの課題を全て解決するKUSANAGIと公式サポートサービス

ちょうどそのタイミングで、プライム・ストラテジーから「KUSANAGI」と「KUSANAGI公式サポートサービス」の提案があった。株式会社松屋フーズ 総務部総務・広報グループ 大野氏は次のようにコメントしている。「プライム・ストラテジーの「KUSANAGI」なら、オートスケーリング無しでも急激なアクセスに対応できることを知りました。また、他社が構築したWebサーバをチューンアップして保守をしていることも分かり、しかも高額な費用も発生しないということで、すぐに対応を依頼しました。普通の会社では提案できない内容でした。

当時のオートスケーリング機能は、コンテンツサーバのみをオートスケーリングしており、DBの分散クラスターができませんでした。これもプライム・ストラテジーに相談したところ、MariaDB Galera Clusterで対応できると即答され、技術力と経験値の高さを感じました。更にサーバ管理だけでなく、コンテンツ管理も対応できるとのこと、これまで抱えていた課題が全て解決できることもわかり、ますます委託したいという気持ちが高まっていきました。”

コストを抑えて課題のすべてを解決できた

“拙速は巧遅に勝る”。この言葉は社長が日頃から意識している言葉であり、大野氏は常に、業務のスピードと品質が求められている。大野氏はプライム・ストラテジーの迅速な対応も評価している。「KUSANAGI」の導入により、Webサイトのパフォーマンスが速くなっただけでなく、メニューの入れ替えなどコンテンツ管理の時間も以前と比べて三分の二に短縮することができた。松屋フーズが提供するメニューは、全て合わせる2千ほど存在しており、その改訂は週2回以上発生する。この作業が短縮できたことは大きい。大野氏は次のようにコメントしている。“Webサーバ・DBの冗長化ができ、急激な負荷がかかってもストレスなくWebサイトが表示できるようになっただけでなく、コンテンツの更新作業の負荷も軽減できた。さらにWebサーバ管理とコンテンツ管理を一元化できたにもかかわらず、運用コストは当初の予定より抑えることができたので、効果は大きいものでした。”



ブリヂストン

「餅は餅屋」でより良いコミュニティサイトを実現

ブリヂストンのバイクユーザー向けコミュニティサイト「Moto-Bridge」、新たなタッチポイントづくりに「KUSANAGI公式サポートサービス」を採用

「Moto-Bridge(モトブリッジ)」

無事リリースされた同サイトですが、この新しい取り組みに対して、意外にも販売店からの反響が大きく、チラシを要望されています。

BRIDGESTONE



WordPressサポートプラン

コミュニティサイト

WordPressサポートプラン	スマートフォン対応	
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
外部パートナーとの共同提案	技術面の安心感	低コストでの実現

■ お客様情報

社 名：株式会社ブリヂストン サービスイン：2018年4月
サ イ ト 名：Moto-Bridge(モトブリッジ) 利 用 製 品：WordPressサポートプラン
サ イ ト U R L：https://motob.bridgestone/

■ 旧サイトの課題

・バイクユーザーと濃度の濃いコミュニケーションをとれる場を作りたい。

■ サービス導入後の効果

- ・コミュニケーションに必要な機能を最小限の費用で、技術的な問題もなく取り入れられた。
- ・販売店からの反響も大きく、新たなコミュニケーションの場を構築できた。

ブリヂストンがバイクユーザーに伝えたい“命を守るためのタイヤ選び”

株式会社ブリヂストンは、1931年に設立され、150か国以上に事業展開する世界最大手のタイヤメーカーだ。乗用車用、トラック・バス用、二輪車用、建設・鉱山車両用、航空機用など様々なタイヤを展開しているが、タイヤに限らず、ゴルフやテニスなどのスポーツ用品、自転車、自動車関連部品、建築・配管関連用品など、商品展開は多岐にわたっている。創業者が社として制定した“最高の品質で社会に貢献”を不変の使命として掲げており、その品質の高さは国内のみならず海外でも高い評価を得ている。今回はその中でも二輪車用のタイヤにフォーカスしていく。

二輪車は、移動手段というより、乗ることを楽しみにするユーザーが多く、四輪車と比較すると嗜好性の高い商品であるため、そのニーズは多様化している。そして、四輪車とは違い、二輪車は基本的に自立することがないことから、ユーザーは足元であるタイヤを重視する傾向にあるようだ。そのため同社では、二輪車の領域で選んでもらうことが大切であり、二輪車を通じてブリヂストンのタイヤを知ってもらい、四輪車の購入時にも選ばれるような橋渡しができればと考えている。また、同社が行った市場調査によれば、レースでの活躍や、品質・性能の良さといった面での認知度は高いものではあったが、その反面、

“サーキットのような走りをしないから自分には必要ない”、“品質が良いものは価格も高いから自分では買わない”という声も多かったという。しかし、二輪車にとって、命を預けるタイヤの価値は重要なもの。だからこそ、“自分には関係ないと思ってほしくない、命を守るタイヤはとても大切なものなのだ”ということを直接ユーザーに伝え、そしてバイクの良さをもっと知ってもらいたいと考えた同社は、ユーザーと濃度の濃いコミュニケーションの場を作るべく、新サイトの「Moto-Bridge」を立ち上げた。

ユーザーとの濃密なコミュニケーションの場を作るために

「Moto-Bridge」は、それまで販売店に限られていたユーザーとのタッチポイントを増やし、ユーザーと直接コミュニケーションをとれる場を作るべく、写真や製品レビューの投稿、一般ユーザーのインタビュー記事の掲載、毎月のプレゼント企画など、ユーザーのための仕組みを取り入れたサイトになっている。それまではSNSなどで情報発信はしていたが双方向のものではなく、販売色の強いものだった。同サイトはユーザーとのコミュニケーションの場を作ることが軸になっているため、立ち上げには様々な方法が検討されたという。その中で、過去に取引のあったプライム・ストラテジーがWordPressを得意としており、実現したい仕組みや機能を、技術面や費用面の問題を含めて解決できるのではないかと考えた同社は提案を依頼した。提案内容は、システム面をプライム・ストラテジーが行い、コンテンツ面は外部/パートナーが行うという得意な点をそれぞれが持ち寄る形の共同提案だったことを評価し、委託先として選定した。この時のことを株式会社ブリヂストン 広報部 広報第3課 垂水 伸浩氏は次のようにコメントしている。“システム面は自分たちがやるけど、コンテンツ面は得意ではないと思うから外部パートナーを連れてきて一緒にやりますという提案は良い姿勢だと思っていました。餅は餅屋、役割分担をし、チームを組む者同士で得意なところを担当することで我々にとって良いアウトプットを出していただけたと思います。”

システム面を意識せず、コンテンツに集中できる

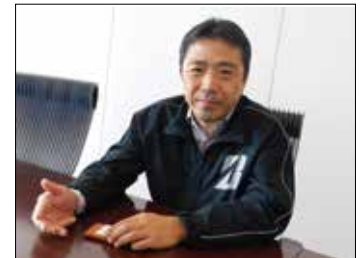
導入作業は同社が持つ環境で行われた。想定範囲内でのスケジュールの遅れはあったものの、プロジェクト自体は問題なく進み、運用中の今も大きな問題は発生していないという。

垂水氏は次のようにコメントしている。“基本的にはWordPressというパッケージにこなれている会社だと思っていたので、不安感こそまではありませんでした。それよりも我々が想定していた機能がきっちりしっかり動くのかという心配はあったが、大きなトラブルもなくリリースされたという認識です。”

株式会社ブリヂストン MCタイヤ事業部長 内田 達也氏は運用について次のようにコメントしている。“システム面を意識せずともコンテンツに集中できたということがよかったと思います。課題がないわけではないが、それはそれで、また解決できていくだろうと思っています。出来上がったものがパーフェクトかといえばそうではなく、予見されていなかったトラブルや、運営していく中であったほうが良いという機能が出てくるとは思います。”

イメージを変えるきっかけを担う「Moto-Bridge」の今後

こうして無事リリースされた同サイトだが、この新しい取り組みに対して、意外にも販売店からの反響が大きく、チラシを要望されているという。PV数や会員数は徐々に増え続けているが、販売店からお客様への紹介が行われれば、その数はより増加していくだろう。タイヤや二輪車のイメージを変えるきっかけになって欲しいという願いが込められた「Moto-Bridge」の今後について、内田氏はその展望を次のようにコメントしている。“サイトを立ち上げたばかりということもあり、コンテンツがまだ少ない。今後は、ユーザーともっと直接コミュニケーションをとれるようなコンテンツを増やして、サイトの活性化を図っていければと思います。”



株式会社ブリヂストン
MCタイヤ事業部長 内田 達也氏

バイクライフを応援するコミュニティサイト – Moto-Bridge(モトブリッジ)

<https://motob.bridgestone/>

株式会社ファミリーマート

大人気のコンテンツを毎月更新

近頃のファミリーマートのマルチコピー機で
オールジャンルのコンテンツをその場で選んで
プリント！「ファミマプリント」

「ファミマプリント」

導入後は、アクセス集中が起こっても落ちることがなくなり、ストレスなく利用者が閲覧できるようになりました。

KUSANAGI for AWS

サービスサイト

- マイグレーション
- 高速化チューニング
- KUSANAGIフルマネージド
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 管理画面高速化
- 運用効率の改善
- 迅速な対応



■ お客様情報

社 名：株式会社ファミリーマート サービスイン：2017年12月
サ イ ト 名：ファミマプリント 利 用 製 品：KUSANAGI for AWS
サ イ ト U R L：http://fp.famima.com/

■ 旧サイトの課題

- ・人気コンテンツが公開されSNSなどで話題になると、アクセスが一気に集中し頻繁にサイト遅延が発生していた。
- ・ページ表示速度が著しく低下した状態が半日以上続くことがあり、商機を逃すことがあった。

■ サービス導入後の効果

- ・アクセス集中時のサイト遅延や、サーバダウンがなくなった。
- ・管理画面の速度が上がったため、業務効率が向上した。
- ・低コストで信頼性の高い環境を構築できた。

6,000点以上のコンテンツを高品質にプリントできる「ファミマプリント」



株式会社ファミリーマート システム本部
サービスシステム部
サービスシステムグループ 福田克良氏

株式会社ファミリーマートは日本の大手コンビニエンスストアフランチャイザーで、全国に1万店舗のコンビニエンスストアを保有している。社会・生活のインフラ企業として、多様なニーズを価値あるサービスにつなげ、改善し続けることを社会的使命としている。そうした考えのもと、時代とともに移り変わっていく家庭の在り方や働き方に合わせた店舗経営を行っており、地域に根付いた各店舗の存在は、忙しい現代人にとって欠かせないものだ。そんな同社が運営している「ファミマプリント」は、まさに時代に即したサービスのひとつだ。

このサービスは、マルチコピー機を使用してゲーム、アニメのプロマイド、漢

検過去問や登山地図など、さまざまなジャンルのコンテンツを購入することができ、高品質なプリントができるのが魅力だ。コンテンツの多くはスマートデバイスで閲覧することもできるが、やはり手元に置いておきたい、飾っておきたい、といったファンならではのニーズにしっかりと対応でき、若い女性を中心に幅広く利用されているサービスである。

利用者は、スマートデバイスやPCから「ファミマプリント」のサイトを閲覧して、6,000点以上のコンテンツの中から欲しい画像のプロマイド番号をメモし、その番号を全国のファミリーマートに設置されているマルチコピー機に入力、代金を支払うことで、プリントされたコンテンツを入手できる仕組みである。コンテンツの印刷品質は写真レベルの画質であり、A4サイズまで拡大印刷ができるため、部屋に飾っても存在感がある。

コンテンツには人気のアニメや芸能人などを採用した企画が展開されており、公開の度に「ファミマプリント」のWebサイトにはアクセスが集中する。さらに、Webサイトには、高品質なコンテンツが掲載されており、どうしても画像ファイルの容量が大きくなってしまうため、アクセスの集中はさらにWebサイトへ負荷をかけることになる。アクセスが集中するようなキラーコンテンツはほぼ毎月のように公開される。その都度、アクセス集中が起き、ページ表示速度が著しく低下してしまうのだが、長い時では半日以上もその状態が続くことがあるため、お客様に迷惑をかけてしまうこともあったそうだ。

コストをあまりかけずにアクセス集中時でも利用者にストレスを与えないようにしたい

人気コンテンツが公開され、Twitterなどで大きな話題になると、アクセスが一気に集中してしまうため、頻繁にサイト遅延が発生してしまっていた。これは企画者からするとうれしい悲鳴ではあるのだが、サービスとしてはこのままではいけない。また、当時、システムの保守を内製で行っていたことから、休日にWebサイトがダウンしてしまったときには、どうしても対応が遅れがちになる。サービスが成熟していくにつれ、顕著になっていくこの課題を解決すべく、本気で改善に取り組むことになった。重要視したのは、コストをあまりかけないこと、アクセスが集中している時でも利用者がストレスを感じない環境にすることだった。株式会社ファミリーマート システム本部サービスシステム部 サービスシステムグループ 福田克良氏は次のようにコメントしている。“Expoで「KUSANAGI」の説明を聞いて以来、どこかで活用できるはずだと思っていました。この「ファミマプリント」のパフォーマンス改善こそ、活用場ではないかと考え、導入を検討しました。プライム・ストラテジーから、AWSでの利用ができることと、1～2週間で移行ができるという提案を頂き、すぐに採用しました。”

「KUSANAGI」への移行はノントラブルでスムーズに進む

プライム・ストラテジーを評価した理由は他にもある。「KUSANAGI」というすぐれた独自技術に加え、WordPressの知識や経験が豊富だったことはもちろん、移行作業のスピード感、価格、保守運用を安心して任せられると判断されたことだ。実際、移行作業のときには、スタッフの対応の早さや、その能力の高さが際立っているという印象を持ったという。Webサイトの課題を認識してすぐ、解決に必要なポイントを理解し、新しい環境の仕様を決めるのも早かったという。移行作業は予定通り1週間で終了し、何事も起きることなくスムーズに完了した。

アクセス集中が起こっても落ちることがなくなった

導入後は、アクセス集中が起こっても落ちることがなくなり、ストレスなく利用者が閲覧できるようになったという。「KUSANAGI」の導入によって、ビジネスチャンスが高まった時に、アクセス集中からくるパフォーマンスの低下によって商機を逃すことはなくなり、利用者の満足度向上に成功したと言える。さらに、担当者の管理負担も軽減され、改善にかかったコストは想定より抑えることができたという。株式会社ファミリーマート システム本部サービスシステム部 サービスシステムグループ 福田克良氏は次のようにコメントしている。“今までは深夜や休日に落ちるのではないかと不安でしたが、「KUSANAGI」導入後は安心して寝られるようになりました。また、導入前は気にしていませんでしたが、管理画面も相当速くなっています。コンテンツの更新は毎日行われているので、コンテンツ管理や投稿の時間を短縮することができ、業務効率の向上にもつながっています。プライム・ストラテジーは安心して任せられる会社だと思います。これからも共にやっていけるパートナーとしてお付き合いいただきたいと考えています。”

株式会社セガホールディングス

情報サイトの保守体制を実現

「セガ製品情報サイト」のCMSの動作速度を向上し、快適な運用を実現した「KUSANAGI」の実力

「セガ製品情報サイト」

2時間かかっていたサイト更新の負荷が減り、システム面を含めたWordPress保守体制ができました。

KUSANAGI for Microsoft Azure

情報サイト

リニューアル	高速化チューニング	
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
運用効率の改善	技術相談	管理画面高速化



■ お客様情報

運 営 会 社：株式会社セガホールディングス
サ イ ト 名：セガ製品情報サイト
サ イ ト U R L：https://sega.jp/

サ ー ビ ス イ ン：2018年10月
利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure

■ 旧サイトの課題

- ・WordPressによるCMSの動作速度が遅く、サイト更新に2時間かかってしまう。
- ・WordPressの最適な保守体制。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

- ・CMS動作速度が向上し、サイト更新の負荷が減ったことで本業に集中できるようになった。
- ・システム面を含めたWordPress保守体制ができた。

セガグループの製品・サービスの情報がわかる「セガ製品情報サイト」

セガグループは、コンシューマ事業、アミューズメント機器事業、トイ・映像事業、アミューズメント施設事業など、幅広いエンタテインメント事業を手掛けている。「UFOキャッチャー」や「プリクラ」から「ソニック」や「ぷよぷよ」など、同社が提供してきた数々のゲームに夢中になって遊んだという記憶がある人は多いだろう。エンタテインメント業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、近年ではその変化のスピードは速くなる一歩だ。同グループでは、そうした環境下であっても市場環境の変化や顧客のニーズにいち早く反応し成長するとともに、グループシナジーによる新しい価値の創出にも積極的に挑戦し続けている。そんなセガグループの経営管理及びそれに附帯する業務を担うのが株式会社セガホールディングスだ。同社はグループの窓口として、広報部門から各社事業の情報やコーポレートに関する情報の発信を行っている。セガ製品情報サイトも同社が運営しているものの一つで、グループ会社が提供する製品・サービスが掲載されており、セガグループのネット上の玄関口として重要な役割を果たしているのだ。



株式会社セガホールディングス
Webデザイン課 課長 牛尾 行伸 氏

サイトの更新に2時間…更新頻度が多いからこそ負担

セガグループのさまざまな製品情報が画像と共に紹介されているため、サイトの情報量は膨大だ。また日々のリリースが発信されるたびにページが追加されていくため、サイトの更新頻度は高く、話題の情報が掲載されるとアクセスが急増することもある。同サイトのCMSにはWordPressが採用されており、状況に応じた改修を行ってきた。また、Webサイトの安全性を高める目的で、動的コンテンツを静的HTMLに自動変換するプラグインStaticPressを併せて利用している。

こうした背景が積み重なった結果、最近になって動作が極端に遅くなり、更新に2時間かかることもある上、エラーになることも出てきた。

これに危機感を覚えた同社は、これを解決すべく、急きょ解決策の検討

を行うことにした。社長室 広報部 Webデザイン課 課長 牛尾 行伸氏は当時をこう振り返る。

「静的化を行うツールを変更する方法も候補に挙がりましたが、それよりも『KUSANAGI』の方が根本的な解決をして頂けるというか、サーバそのものを含めて管理していただけるというスタイルだったので、こちらのほうがいいなと思いました。社内にも保守体制はありますが、WordPressのスキル面が非常に高いなと感じたので、任せたら安全で適切な対応をとってもらえそうな印象でした。実際、遅い原因の一つがWordPressの作りによるものだったということで、ボトルネックになっていたところをパッと見つけて、速くなる方法を契約前なのに提案してくれました。」

更新速度が改善され、負荷が下がった

こうして、WordPressの知識と経験、サポート、サーバ管理といった点を評価され、「KUSANAGI」の採用が決まり、導入作業をスタートさせた。同サイトには、複雑な仕組みも存在しているため、エンジニアによる様々な調整が必要となったが、最終的には古いバージョンのままだったミドルウェアを新しくするなど、全体的に刷新を行って移設が完了した。

導入後、サイトの更新速度は無事改善されたのだろうか。牛尾氏はそれについてこう語った。

「サイトの静的化スピードは格段に向上しました。更新に2時間かかるのはとても負担だったので、助かります。また静的化した公開サイトのページ遷移のスピードも上がりました。ページがサクサク表示されるのでうれしかったですね(笑)。」

顧客に合わせた柔軟なサポート体制を評価、継続へ期待

最後に今後についてと、プライム・ストラテジーへの評価について聞いてみたところ、次のように答えてくれた。

「今後は、ベンダー含めた3社で集まって、役割分担を話し合って対応を決め、連携をとっていかないといけません。ベンダーで気づかない部分を提案頂けるとしますので、それぞれの業務領域の策定など、これからの運営に関しての相談をしていきます。旧サーバで不便だったところを使いやすいようにして欲しいという要望もあります。弊社の運営や環境に合わせた柔軟なサポートを行って頂いていると感じています。今後も様々な課題が発生するかもしれませんが、今までのように型にはまらない柔軟なサポートを期待しています。」



日商エレクトロニクス株式会社

「KUSANAGI」の導入により、PowerCMSでもWordPressと同様の高い効果が得られた。

「日商エレクトロニクス株式会社」

プライム・ストラテジーの「KUSANAGI for AWS」の導入で、それまで表示速度とコンテンツの再構築に時間がかかりすぎたという問題を抱えていたPowerCMSの課題が解決されました。

KUSANAGI for AWS

コーポレートサイト

PowerCMS	マイグレーション	KUSANAGIフルマネージド
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
迅速な対応	運用効率の改善	的確な提案



■ お客様情報

社 名	日商エレクトロニクス株式会社	サービスイン	2017年11月
サ イ ト 名	日商エレクトロニクス株式会社	利 用 製 品	KUSANAGI for AWS
サ イ ト U R L	https://www.nissho-ele.co.jp/index.html KUSANAGI公式サポートサービス		

■ 旧サイトの課題

- ・運用コストや、メンテナンスの際のサーバ停止に時間がかかりすぎた。
- ・Webサイトの表示速度が遅く、PowerCMSの再構築にも時間がかかっていた。
- ・大きな容量のファイルが多く、ストレージ容量がひっ迫することが多かった。

■ サービス導入後の効果

- ・KUSANAGI for AWSを活用することでPowerCMSの表示速度が2倍向上した。
- ・運用コストが半分に削減できた。
- ・システム設定変更の際の負荷が減った。
- ・ストレージ容量の調整の必要がなくなった。



日商エレクトロニクス株式会社コーポレート本部 経営企画部 総合企画課 広報担当 主任 渡部 泉氏

世界の最先端技術をいち早く日本国内でソリューションとして提供

日商エレクトロニクスは、Innovation-Leading Companyとして、会社設立以来、一歩先を見据えたイノベーションへの目利き力と経験に裏打ちされた技術力を強みとして、世界の最先端技術をいち早く日本国内でソリューションとして提供してきた。それぞれの時代を先取りする技術やシステムを事業化し、新しい市場を開拓してきた。

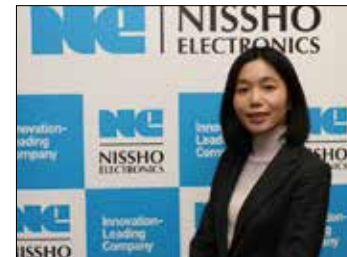
現在は、ネットワークからサイバーセキュリティ、コンピューティング、業務プロセス改善まで幅広い分野でソリューションを提供している。その活躍は国内にとどまらず、海外での活動も行っている。企業理念には「Your Best Partner」を掲げており、常にチャレンジ精神を持ち、最適解を求め、前進して

いる企業だ。

委託先にはクラウドからCMSまでをカバーできる保守範囲の広さが評価

コーポレートwebサイトのプラットフォームとして使用していたクラウドサービスが2018年5月にサービスの提供を終了してしまうため、日商エレクトロニクスは次のクラウド基盤を探していた。当時使用していたクラウドサービスは、運用コストや、メンテナンスの際のサーバ停止に時間がかかりすぎること、webサイトの表示速度の遅さ、PowerCMSの再構築に時間がかかってしまうことによる管理の煩雑さが問題になっていた。

こうした課題を解決するべく、以前からクラウド基盤の移行を検討してはいたが、移行のための手順も明確になっておらず、さらに部門内でPowerCMSの移行作業の経験をしたことがある者もいなかった。そこで、クラウド基盤やCMSの知識だけでなく、移行などのサポートを行ってくれるような委託先を探すことにした。クラウドインテグレーター2社、Web開発会社2社、プライム・ストラテジーの計5社からの提案をうけたが、クラウドインテグレーターではCMSが担当範囲外となってしまう、Web開発会社ではクラウド基盤が担当範囲外であるか、委託費用が高額になってしまうことが分かった。ところが、プライム・ストラテジーならクラウドからCMSまでの範囲をカバーでき、技術的知見と経験が豊富であることが分かり、プライム・ストラテジーを採用することとなった。



表示速度が2倍に上がったのにコストは半額

プライム・ストラテジーの「KUSANAGI for AWS」の導入で、それまで表示速度とコンテンツの再構築に時間がかかりすぎたという問題を抱えていたPowerCMSの課題が解決された。それに加え運用費用が抑えられたにもかかわらず、管理の負担が軽減したという。日商エレクトロニクス株式会社コーポレート本部 経営企画部 総合企画課 広報担当 主任 渡部 泉氏は次のようにコメントしている。“今までPowerCMSでコンテンツを更新する度に発生していた再構築の時間が大幅に削減でき、ページを更新するたびに待たされるといった感じがなくなりました。表示速度は従来の2倍になった上、管理は楽になり、クラウドの利用料金は半分になったので、本当にお得な提案でした。「KUSANAGI」といえば、WordPressの高速化や、運用コスト削減、セキュリティ強化の3点を評価されることが多いですが、今回の件で、MovableTypeやPowerCMSでも、WordPressと同様の高い効果が出るということが証明されたように思います。”

現場で運営できることによる作業の迅速化

コーポレートサイトと同時に導入プロジェクトを行ったパートナー・保守顧客向けサイトでは大きな容量のファイルが多く、ストレージ容量がひっ迫することが多かった。以前のシステムでは700GBの容量で契約し、さらに冗長化もしていたため合計で1.4TBの容量を使用していた。今回の移行にあたり、プライム・ストラテジーで再設計し、容量の軽減と拡張を容易にできるようなクラウド環境を構築した。さらに、それまではクラウドサービス業者、Web業者と社内の情報システム部の連携を取りつつシステムの変更をおこなっており、調整に多くの時間がかかっていたが、プライム・ストラテジーに委託するようになってからは調整の必要がなく、同社に作業を依頼するだけで対応ができるようになったため、全体の作業を速やかに終わらせるようになった。

土日作業で期日内にサービスイン

高い効果を示した「KUSANAGI for AWS」とプライム・ストラテジーだが、実は導入プロジェクトが全く問題なく進んだわけではない。移行作業で小さな不具合が出たことで、スケジュールが遅延する可能性があったのだが、プライム・ストラテジーの担当者が土日にも対応することで、スケジュール通りサービスインできた。渡部氏は次のようにコメントしている。“プライム・ストラテジーが一番熱心で、一番足を運んでくれました。質問をしても真摯な対応で、サービス採用前でも検証サイトを構築してくれたので、導入前に採用メリットを確認することができました。”

株式会社 アクティビティジャパン

急成長中の「アクティビティジャパン」、サイト表示が高速化したその裏に「KUSANAGI」

『アクティビティジャパン
『体験・レジャーの予約サイト』』

Webサイトと管理画面の双方の速度が改善し、連絡のやり取りも迅速にご対応頂けているので、運営がスムーズにっています。

KUSANAGI for AWS

情報サイト

高速化チューニング

マイグレーション

FuelPHP

レスポンスの高速化

セキュリティ強化

運用コスト削減

PV数向上

常時SSL化

高アクセス対策

丁寧な対応

管理画面高速化

運用効率の改善

■ お客様情報	
運 営 会 社	株式会社 アクティビティジャパン
サ イ ト 名	体験・レジャーの予約サイト
サ イ ト U R L	https://activityjapan.com/
■ 旧サイトの課題	
・サイトをj利用するユーザーが快適に閲覧できるよう、記事ページの表示速度を改善したい。	
・カスタマイズしたWordPressのバージョンアップを行い、セキュリティ面を向上させたい。	
■ サービス導入後の効果	
・Webサイトと管理画面の双方の速度が改善し、快適に利用できるようになった。	
・工数をかけずWordPressのバージョンアップができ、セキュリティが向上した。	



代表取締役社長 小川 雄司氏

中国語・タイ語に対応、今後はその他の言語も取り入れる予定だ。日本ならではの遊びから、楽しさと喜びを経験した外国人観光客の多くは、“また行ってみたい”と考え、再来につながっている。こうしたこれまでの実績と、昨今の旅行業界における



日本中にあるすべての遊びが集まる「アクティビティジャパン」

株式会社アクティビティジャパンは、日本中にあるすべての遊び方を調べられ、予約も可能なWebサイト「アクティビティジャパン」を2014年夏から提供している。また、アクティビティを提供する各地域のイベント主催者同士を引き合わせ、新たなアクティビティを生み出すためのコンサルティングやコーディネート業務、運営管理のサポートも行っており、地方活性化にも貢献している。「アクティビティジャパン」のサイトでは、マリンスポーツやバンジージャンプなどの王道アウトドアの情報はもちろんのこと、伝統文化や郷土料理の調理を含めた生活体験など、幅広くカバーしている。どれもがその場所を訪れた観光客だけが体験できる特別なプログラムばかりで、多くの人が情報を求めてサイトを訪れている。

また、同サイトは外国人観光客からも人気を得ており、現在は、英語・

ニーズの変化が相まって、同社に注目が集まっていることがわかる。代表取締役社長 小川 雄司氏は次のようにコメントしている。

「やっぱり、一番記憶に残るものは、地元の方々と一緒に何かをすること。つまりそれがアクティビティや体験に変わるということで、事業として進めてきました。特にこの1年、海外からのトラザクションが増え始めているところです。東アジアからは、ローコストキャリアを使って日帰り旅行感覚で日本にどんどん来ています。買い物が主流だったんですが、買い物だけでは飽き足らず、地域ならではの遊びを求めるようになっていたのでそのニーズに応えるべく、多言語化を図っています。」

取締役 大枝 史典氏はさらに次のようにコメントしてくれた。

「こんな遊び方いかがですかというレコメンドエンジンも実装しています。トップにあるような特集を切り口にして、この場所ではこういう遊び方がおすすめですとか、ベットと楽しめるとか、いろんな切り口を用意しているので、その人にあったおすすめ体験を検索できるサイトです。」

サイトの速度改善なら「KUSANAGI」で解決できる！

順調にPV数を伸ばしてきた同サイトを支えているのはWordPressだが、同社は表示速度に不満を抱え、改善したいと考えていた。しかし、WordPressをカスタマイズして使用していたため、改修やアップデートの対応に工数がかかりかかることを懸念していたという。大枝氏は「KUSANAGI」採用までのことを振り返り次のようにコメントしている。「サイト全体の速度は様々な施策で改善はしていたのですが、WordPressに関してはかなりカスタマイズをしていて、速度改善のための改修やバージョンアップに対する調査・検証になかなか工数を割けない状況でした。そこで速度改善ということで、ガラッと入れ替えてしまおうという話になって、御社の話を聞いて入れてみようとなりました。事例見させて頂いて、確実に早かったの。一番の目標が速度を早くして、お客様が快適に見られるページと予約しやすい導線をつくりたかったのと、値段も妥当かなというところで採用しました。他に同じような提供があまりないのかなという印象ではありましたね。」



取締役 大枝 史典氏



サービス企画部
エンジニア 加藤 拓也氏

特殊な使い方をしていたWordPress、サーバ構成を変えずに移設できた

同サイトで使用されているWordPressは通常とは異なった使用をされているが、「KUSANAGI」の導入時、多少の改修を行ったものの、サーバ構成を変更せず、旧環境と同構成での移設はスムーズに完了した。導入後、Webサイトと管理画面の表示速度は改善し、快適に利用できているという。また、WordPressのバージョンアップも行い、セキュリティ面も向上した。

導入プロジェクトを振り返り、サービス企画部 エンジニア 加藤 拓也氏は次のようにコメントしている。

「ソースをお渡ししてからの対応が非常に早くて、質問も丁寧に答えてくれた。何をしたらいいのかなどもわかりやすく、準備もスムーズに進められたと思います。弊社は少し特殊な使い方をしていたので、問題なく進められるか少し懸念していたのですが、対応いただいた後全く問題なく動かせていたので、安心しました。ちょっと通常とは違ったサーバ構成のせいで少し課題もあったのですが、こうすればいいですよとすぐ答えてもらえて、これも助かったところでですね。」

ブライム・ストラテジーの迅速な対応を評価

リリース後は大きな問題も発生していないということで、細かな課題に取り掛かる予定だという。また、WordPressに関する有効なプラグインの活用方法や、さらなる速度改善へのサポートも望んでおり、ブライム・ストラテジーは引き続きサポートを行っていく。最後に、大枝氏は、今後のブライム・ストラテジーとの関係と、サイトの成長戦略について、次のようにコメントしてくれた。「連絡のやり取りは迅速にご対応頂けているので、スムーズにしています。今後はさらに快適に使いやすいサイトをお客様に提供できるように一緒に頑張っていければと思います。」



アルー 株式会社

グローバル人材育成・社員研修組織人事
コンサルティングのアルー

「alue」

プライム・ストラテジーの「KUSANAGIフルマネージドサービス」は金額の割に手厚い迅速なサービスだと思います。仕事ぶりは短時間にテキパキやっていただいているという印象です。

KUSANAGI for CPI

コーポレートサイト

マイグレーション	高速化チューニング	KUSANAGIフルマネージド
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
管理画面高速化	迅速な対応	技術相談

alue



■ お客様情報

運 営 会 社：アルー株式会社
サ イ ト 名：アルー株式会社
サ イ ト U R L：http://www.alue.co.jp/

サ ー ビ ス イ ン：2017年3月
利 用 製 品：KUSANAGI for CPI
KUSANAGI公式サポートサービス

■ 旧サイトの課題

共用サーバの構成ではレスポンスに不安があった。WordPressの脆弱性対応に不安があった。運営の負担を今よりも軽減したかった。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

Webページやプレビュー、管理画面などすべてがサクサク動作するようになった。セキュリティが強化された。WordPressの定期メンテナンス、その他運営作業の手間がなくなった。

成長に応じたセキュリティとパフォーマンスの強化が必要でした

特に大きな問題もなかったのですが、安全性と信頼性が高いKDDIウェブコミュニケーションズ社のシェアードプランでWordPressを長く利用していました。その後、当社はコンテンツマーケティングを展開し、研修に関する情報が大変充実してきました。最近では、幅広い年齢層の方が理解できる総合的なWebコンテンツを提供するようになり、業種に限らない多くの方々に閲覧頂くようになりました。

また、お客様が研修を検討される方法も、時代の流れで、電話やカタログによる情報収集から、インターネットを駆使してWebコンテンツを吟味し検討するようになりました。アルーのWEBサイトを通じて、お客様との密なコミュニケーションが始まり、その数も増え、今後も当分それが続くようになります。お客様の個人情報など、大切に扱わなければならないデータの管理に益々セキュリティとパフォーマンスの強化が必要になってきたわけです。



アルー株式会社 マーケティンググループ
矢部 典子様

ちょうどその検討のタイミングでご提案いただいたのが「KUSANAGI」と「KUSANAGIマネージドプラン」になります。コストパフォーマンスの高さもさることながら、メンテナンスの負荷が軽減でき、セキュリティとパフォーマンスが強化できるとのことで採用いたしました。「KUSANAGI」はかなり事例が多いので、安心してご依頼もできました。

育成の成果にこだわり、独自の評価ツール「ALPath」をシリーズ展開

アルーは、企業のグローバル人材育成をはじめ、新入社員から中堅リーダー層、管理職までの人材育成、社員研修、人事組織コンサルティングを通じて、これからのグローバル時代を勝ち抜く組織づくりをご支援しています。

アルーは、2030年にアジアでNo.1の人材育成企業になることをビジョンに掲げ、アジアの各国に拠点・事業展開することで、企業の人材育成・組織開発のパートナーとなるべく、挑戦し続けています。2017年は2016年から続けている「育成の成果にこだわる」ことに重点を置き、独自の評価ツール「ALPath」シリーズを展開し研修前後のフォローを強化しています。

「KUSANAGI」を採用する際、豊富な事例が大変参考になりました

今回検討を始めたのが2017年1月で、非常に短時間で採用の判断をしたのですが、その際に参考になったのが事例です。「KUSANAGI」の事例はとても豊富で様々な企業が評価をしていました。他のお客様が評価されているサービスは検討時の参考になる情報も多く、とても安心して採用できます。結果的に短時間での検討となり、2017年3月にサービスインすることができました。

管理画面や、特にコンテンツを確認するプレビューのページが速くなりました

従来よりもかなり速くなった印象があります。感覚では2倍以上速くなったような気がしています。以前はふわっと動く感じがあったのですが、KSUANAGI導入後はパツパツと画面が遷移する感じになりました。また、管理画面も速くなりました。特に、コンテンツを確認するプレビューのページも速くなりました。これによりストレスもたまらなくなりました。

レスポンス早く、迅速で手厚いサービス

プライム・ストラテジーの「KUSANAGIフルマネージドサービス」は金額の割に手厚い迅速なサービスだと思います。担当営業の穂苅様や対応頂いた技術の大曲様もレスポンス速く対応頂きました。仕事ぶりは短時間にテキパキやっていただいているという印象です。

「KUSANAGIフルマネージドサービス」の移行もスムーズ、技術的な運営は全て依頼できます

移設の時間は1日でしたが移設時間のみ更新を控えただけで、何の負担もなく滞りなく作業を終えていただき、スムーズな移行ができました。また、当社では一人でWebを担当しているため、「KUSANAGIフルマネージドサービス」のような技術面での運営を全て依頼できるサービスはとても便利です。

アルー株式会社サイト構成について

アルー株式会社のサービスでは、フロントにNGINX、PHP 7、DBにMariaDB Galera Serverを採用しています。

KUSANAGI for CPI

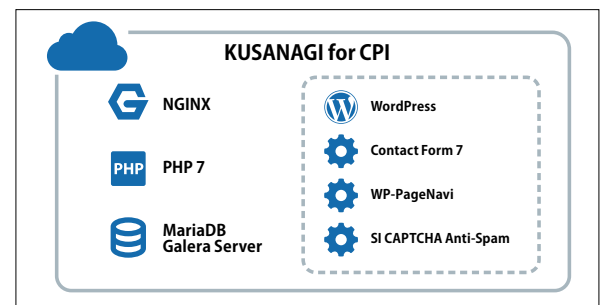
https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-cpi/

KUSANAGIについて

https://kusanagi.tokyo/



(写真左より2人目)
株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ
クラウドホスティング事業本部 開発推進部
山田 直哉様
(写真中央)
株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ
クラウドホスティング事業本部 開発推進部 副部長
植木 潤哉様



株式会社 HS情報システムズ

住宅金融分野の情報システムトップ企業を目指す

「株式会社HS情報システムズ」

「KUSANAGI」は、コストの面、セキュリティの面、高速化等の技術面などのバランスが取れており、セキュアなコーポレートサイトの運営や、お客様により快適に閲覧いただけるようになるということが重要な選択理由でした。

KUSANAGI for Microsoft Azure コーポレートサイト

マイグレーション

高速化チューニング

KUSANAGIフルマネージド

レスポンスの高速化

セキュリティ強化

運用コスト削減

PV数向上

常時SSL化

高アクセス対策

迅速な対応

技術相談



■ お客様情報	
運 営 会 社：株式会社HS情報システムズ	サ ー ビ ス イ ン：2016年8月
サ イ ト 名：株式会社HS情報システムズ	利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure
サ イ ト U R L：https://www.hs-net.co.jp/	KUSANAGI公式サポート
■ 旧サイトの課題	
より安全にWordPressを活用しなかった。低コストにWordPressを運営しなかった。	
■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果	
KUSANAGI導入前と比べると、実測値で1.76倍高速化された。WordPressのセキュリティが向上できた。KUSANAGI移行キャンペーンにより安価に移行できた。	

移行したことでWeb更新が多くなり、より多くの方に閲覧いただくようになりました — 株式会社HS情報システムズ ビジネス部マーケティング課 課長 大西様、同リーダー 山本様のコメント

3年ほど前までは、コーポレートサイトをフルスクラッチで制作し運営していました。当時は当社内の技術部門にWebの更新を依頼していました。技術部門は、お客様からの依頼などの通常業務を優先しなくてはならない場合も多く、営業部門や人事部門が希望する通りのスケジュールで、サイトの更新をすることができない場合もありました。そのような時にWordPressの存在を知り、WordPressへ移行して、営業部門や人事部門がサイトの更新をできるしくみにすることに決めました。メールで依頼をしたところ、すぐに担当の方に来ていただき、ご提案をいただきました。最終的に価格面や技術力など総合的な判断でプライム・ストラテジーに委託をすることになりました。WordPressに移行したことでWebを更新する頻度が多くなり、よりたくさんの方に閲覧いただけるようになりました。更新が楽なWordPressに移行してよかったと思っています。そのWordPressをより高速に且つセキュアに運営できる「KUSANAGI」を活用し、より一層お客様に有益な情報発信を続けていきたいと考えています。

より快適に閲覧するための高速化の技術と WordPress運用におけるセキュリティの確保は重要な選択理由

株式会社HS情報システムズは1997年の設立以来、一貫して住宅金融及びその周辺分野での情報システム開発・運用に携わってきました。常にお客様の業務実態やご要望に寄り添いながら実績のある技術を組み合わせることで、低リスクで、且つ、最適なシステムの提供に努めております。今後も住宅ローン関連のシステムの構築・運用を中心に関連サービスの創造を目指してまいります。

B to Bのニッチな事業内容の会社のコーポレートサイトのため、それほど多くのアクセスがあるわけではありません。「KUSANAGI」は、コストの面、セキュリティの面、高速化等の技術面などのバランスが取れており、セキュアなコーポレートサイトの運営や、お客様により快適に閲覧いただけるようになるということが重要な選択理由でした。

プライム・ストラテジーのスタッフの印象は「クイックレスポンス」

プライム・ストラテジーのスタッフの印象は、呼ぶとすぐに来てくれる、クイックレスポンスという印象でした。担当の方の性格に依存しているような気もしますが、硬派な感じの対応で、WordPressの経験が豊富で頼りになりました。今回「KUSANAGI」に切り替えた際に、WordPressの外で運用しているコンテンツが一部あったため、情報共有の齟齬があり、移行がスムーズにいかなかったことがありました。その時も最終的に連絡を密にして無事移行ができました。

スピードは1.76倍向上し、お客様が快適に当社のコーポレートサイトを閲覧できるようになりました

情報発信が容易になったことから、コラムを社内3本運営したり、お問合せフォームも設置するようになりました。現在、「住宅金融雑論」、「春日日和」、「直球勝負」の3本を運営していますが、どれも良く読んでいただいているようです。このコラムを見たり、検索サイト経由のアクセスで、お客様からお問い合わせをいただくこともあります。サイトからのお問合せで、新規のお客様からの受注実績も出るといった成果も出ています。

「KUSANAGI」の導入でスピードは1.76倍向上しました。お客様が快適に当社のコーポレートサイトを閲覧できるようになったということです。また、当社は金融機関様のシステムを扱う会社でもあるため、Webサイトのセキュリティの強化も必要でした。WordPressは世界で最も使用されているCMSであることもあり、攻撃のターゲットになりやすいと聞いていて不安でしたが、「KUSANAGI」によりWordPressの弱点であるセキュリティ面も補っていただけるので、安心してWordPressを利用できるようになりました。



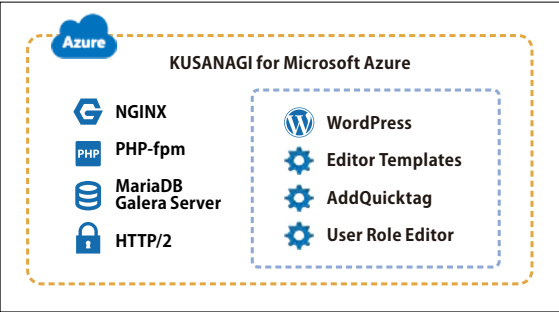
株式会社HS情報システムズコーポレートサイト 構成について

株式会社HS情報システムズコーポレートサイトはフロントにNginx、PHP-fpm、DBIにMariaDB Galera Serverを採用しています。最新のHTTP/2プロトコルに対応し、常時SSL環境にて運用しています。

KUSANAGI for Microsoft Azure
https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-microsoft-azure-arm/

KUSANAGIについて
https://kusanagi.tokyo/

KUSANAGI公式サポートサービスについて
https://kusanagi-hosting.com/



超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」とは

超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」(以下「KUSANAGI」)は、プライム・ストラテジー株式会社が開発・構成する、CMS を高速に動作させるための仮想マシンおよびそのイメージです。WordPress の実行時間 3 ミリ秒台、秒間 1000 リクエストをページキャッシュ非使用で実現する世界最高速クラスの CMS 実行環境です (*1)。

KUSANAGI の特徴

KUSANAGI は WordPress を始めとした各種 CMS 環境から、PHP、MySQL で動作する LAMP 環境まで、様々な環境を高速に動作させることが可能となります。

Web サイトが遅い、重い

超高速 CMS 環境

超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」はあなたの Web サーバを通常の約 10 倍の速さにブーストさせます。ぜひこの速さをご体験ください。

Web サイトが安全に

高セキュリティ Web サイト

常時 SSL を高速な環境のまま導入するには実は最新の Web サーバが必要です。Let's Encrypt と HTTP/2 対応など、「KUSANAGI」は常に最新の環境を提供しています。

より強い SEO 効果へ

最新の SEO に効果的

高速化も常時 SSL 化も最新の SEO には重要なファクターです。「KUSANAGI」はさらに強力に SEO の効果を発揮します。



PV 数、回遊率向上 収益性を高めます

「KUSANAGI」の導入で約 40% の PV 数向上を実現した実績もあります。メディアサイトなら収益性が向上します。コーポレートサイトなら SEO 効果が高くなります。



企業イメージを守ります

脆弱性の対応にはそれなりに工数がかかります。アプリケーションリポジトリによるアップデートを可能とした「KUSANAGI」なら常に最新の環境が企業のデータを守ります。



マーケティング効率を向上します

Google が目指す最新の SEO にはユーザー体験が含まれます。「KUSANAGI」は高速化から常時 SSL 対応までワンストップで実現可能です。マーケティング担当者はコンテンツに注力しましょう。

パフォーマンス測定結果

プライム・ストラテジー内部のパフォーマンス測定結果では、以下の処理能力を実現しています (*2)。

ab-n 10000-c 300 https://kusanagi.tokyo/

Server Software	nginx
Server Hostname	kusanagi.tokyo
Server Port	80
Document Path	/
Document Length	6952 bytes
Concurrency Level	300
Time taken for tests	9.643 seconds
Complete requests	10000
Failed requests	0
Write errors	0
Total transferred	71680000 bytes
HTML transferred	69520000 bytes
Requests per second	1036.97 [#/sec] (mean)
Time per request	289.305 [ms] (mean)
Time per request	0.964 [ms] (mean, across all concurrent requests)(*2)
Transfer rate	7258.78 [Kbytes/sec] received

*1 最大性能時。実行する仮想マシンインスタンスの性能や Web サイトの内容（機能、データ量など）に依存します。
*2 このテストでは 4 コア（4vCPU）の仮想マシンを利用しているため、WordPress の実行時間は 0.964 ミリ秒に 4 を乗じた 3.856 ミリ秒となります。

※本事例集に掲載されている会社名、商品・サービスの名称は、それぞれ各社が保有する商標または登録商標です。 ※サービス名は提供時のものです。

お問い合わせ・詳細は KUSANAGI マネージドサービスサイト、またはお電話で

🏠 <https://kusanagi-hosting.com/inquiry/>

📞 **03-6551-2996** (受付時間: 9:00~18:00 / 月曜日~金曜日)



プライム・ストラテジー株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア イーストタワー18F
TEL:03-6551-2996 FAX:03-6551-2941
<https://www.prime-strategy.co.jp/>